

20:13 ちょうどそのころ、一人の預言者がイスラエルの王アハブに近づいて言った。「【主】はこう言われる。『あなたは、この大きいなる軍勢を見たか。見よ、わたしは今日、これをあなたの手に引き渡す。こうしてあなたは、わたしこそ【主】であることを知る。』」

20:14 アハブが「それは、だれによってでしょうか」と尋ねると、その預言者は言った。「【主】はこう言われる。『諸州の首長に属する若い者たちによって。』」アハブが「だれが戦いを仕掛けるのでしょうか」と尋ねると、「あなたです」と答えた。

20:15 彼が諸州の首長に属する若い者たちを調べてみると、二百三十二人いた。そのほか、すべての兵、すべてのイスラエル人を調べたところ、七千人いた。

20:16 彼らは真昼ごろ出陣した。そのとき、ベン・ハダドは味方の三十二人の王と仮小屋で酒を飲んで酔っていた。

20:17 諸州の首長に属する若い者たちが最初に出陣した。ベン・ハダドが人を遣わすと、彼は「人々がサマリアから出て来ています」との報告を受けた。

20:18 彼は言った。「和平のために出て來ても生け捕りにし、戦うために出て來ても生け捕りにせよ。」

20:19 町から出て来たのは、諸州の首長に属する若い者たちと、これに続く軍勢であった。

20:20 彼らはそれぞれ相手に打ち勝ったので、アラム人は逃げ、イスラエル人は追った。アラムの王ベン・ハダドは馬に乗り、騎兵たちと一緒に逃れた。



20:21 イスラエルの王も出陣し、馬と戦車を討ち、アラム人を討って大損害を与えた。

20:22 その後、あの預言者がイスラエルの王に近寄って言った。「さあ、奮い立って、これからなすべきことをよく考えなさい。来年の今ごろ、アラムの王があなたを攻めに上って来るからです。」

20:23 そのころ、アラムの王の家来たちは王に言った。「彼らの神々は山の神です。だから、彼らは私たちより強いのです。しかし、私たちが平地で彼らと戦うなら、きっと私たちのほうが彼らより強いでしょう。」

20:24 このようにしてください。王たちをそれぞれ、その地位から退かせ、王たちの代わりに総督を任命し、

20:25 あなたは失っただけの軍勢と馬と戦車を補充してください。彼らと平地で戦うなら、きっと私たちのほうが彼らより強いでしょう。」王は彼らの言うことを聞き入れて、そのようにした。

神に背いてバアルに仕えたアハブに勝利を与えるというのは、意外に思えるかもしれません。預言者は彼の祝福を預言しているようでもあります。ただしこれは、ただ主がアハブを用いて悪しき者をさばき、その御心を行ふに過ぎません。主はイスラエルを懲らしめるために、異教の国の攻撃を用いたように、異教の国をさばくために悪王を用いることもあるのです。

私たちは自分が主に用いられたからといって、何の信仰がすばらしいかのように錯覚してはいけません。主の祝福は主に従順であるかどうかによるのです。謙遜でなければ、従順にはなれません。自分の功績や実績や過去の証で、自己満足したままでないか、自分自身を吟味してみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？